



冷雨でも消せない、受け継がれし伝統の炎



神幸祭

令和7年 金田稲荷神社 **写真紹介**

Kanadainari Shrine JINKOUSAI

四

百年以上の歴史を誇る「金田稲荷神社神幸祭」が、10月25・26日に行われました。両日ともに冷雨の中での実施となりましたが、祭り関係者の想いの炎は消えるどころか大きく燃え上がり、例年以上の意気込みで山笠を練行。神輿のお下りと同時に、神社前に集った二区・上金田・町部・六区平原の山笠が威勢よく掛け出し、「オーラーヤッサー」の勇ましい掛け声を挙げながら地区内を練り歩きました。風雨にも負けず伝統を守り抜いた各地区の昇き手たち。逆境にもめげず立ち向かったその姿に、観衆は大きな感銘を受けていました。

■普段は車通りが絶えない町役場前の主要道路を、この日ばかりは神輿・山笠行列がジャック。■土砂降りの雨にも負けず、山笠を引っ張る子どもたち。■地元の女兒に長年舞い継がれてきた「トヨサカノマイ」を奉納。■雨支度の神輿行幸。■雨粒を振り払うかのような熱気ある獅子舞を披露。■雨音に負けない囃子で仲間の士気を高揚。■喝を入れる運行代表。■寒さに動じない堂々の稚児舞で観衆を魅了。■魂の叫びにも似た掛け声を轟かせながら重量10t以上の山笠を押し、難所である急坂を一気に駆け上がる昇き手。

